

2020年7月22日

Peach Aviation 株式会社

本日より、国内線全便の運航を再開 ～徹底した感染対策を実施し、「かけ橋」として各地をつなぐ～

- ・ お客様にも協力を呼びかけ、徹底した感染対策を実施
- ・ 本日より、事業計画通りの国内線1日あたり22路線約100便で運航
- ・ 6月19日に国内線全路線を再開後、およそ1か月で国内線全便の運航を再開

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は、本日より、すべての国内線の便で運航を再開しました。これにより、1日あたりの運航便数は、新型コロナウイルス感染拡大前に策定した国内線の事業計画通り、22路線約100便となります。



Peach は新型コロナウイルスの影響を受け、2020年3月より一部の路線において減便、運休を実施しておりました。6月より段階的に運航を再開し、6月19日からは一部路線の減便を継続しつつ国内線全22路線で運航を再開し、その約1か月後となる本日より、国内線全路線のすべての便で運航を再開しました。

Peach ではスタッフのマスク、手袋、フェイスシールドの着用や、機内除菌の実施など、空港や機内で徹底した感染対策を実施しています。約3分で入れ替わる機内の換気に関しては、動画を制作し、公式ウェブサイト上でご紹介しています。

また、お客様に対しても、搭乗前の自宅での検温、空港でのソーシャルディスタンスの確保、機内でのマスクの着用と会話をお控えいただくなどの協力に加え、目的地においても感染予防対策を徹底していただくよう呼び掛けながら、感染対策と運航の両立を図っています。

(感染対策について): https://www.flypeach.com/information/jp/infection_control/

(機内換気について): <https://www.flypeach.com/information/jp/air-circulation/>

8月1日(土)から8月31日(月)は、国内線の増便を実施し、当初の事業計画である3,270便を上回る、3,967便を運航します。(増便数:12路線572便) また、8月1日(土)より、東京(成田)ー釧路、宮崎の2路線を就航いたします。

Peach は「空から、新しいかけ橋を。」をテーマに、感染対策を徹底しながらかけ橋として各地をつなぎ、日本国内の社会経済活動の拡大へ貢献してまいります。



[Peach について \(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、成田空港、福岡空港、那覇空港を拠点空港とし、32 機の機材で、国内線 22 路線、国際線 17 路線に就航しています。また、2019 年 11 月にバニラエアと統合し、「アジアのリーディング LCC」を目指し、首都圏および関西を中心に各地からの路線網を拡大しています。